

キャスターテント「X-TENT」

取扱説明書



販売店

 **SHINTEC**

株式会社シンテック

TEL : 0120-2210-15 FAX : 042-438-3708

〒202-0003 東京都西東京市北町 6-1-29

キャスターテント X-TENT のご使用方法

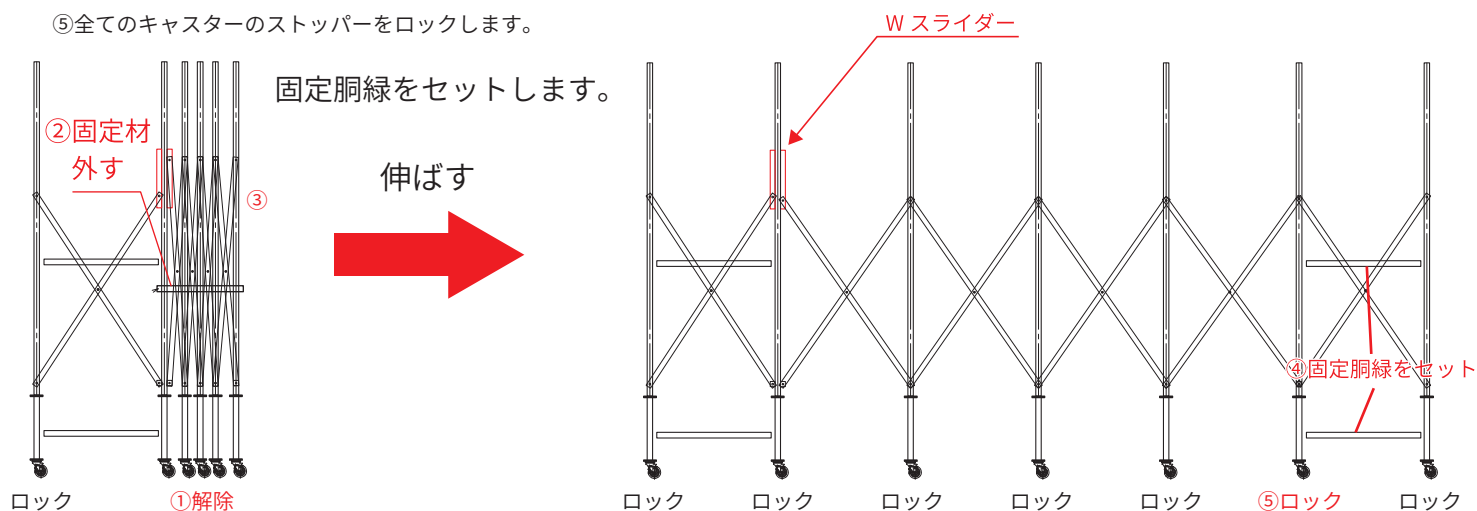
ご注意点

伸縮作業は安全の為、必ず大人 4 人以上でカド位置に配置して行って下さい。

伸縮作業時にはジャバラ部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、怪我や事故の無いよう十分にご注意下さい。

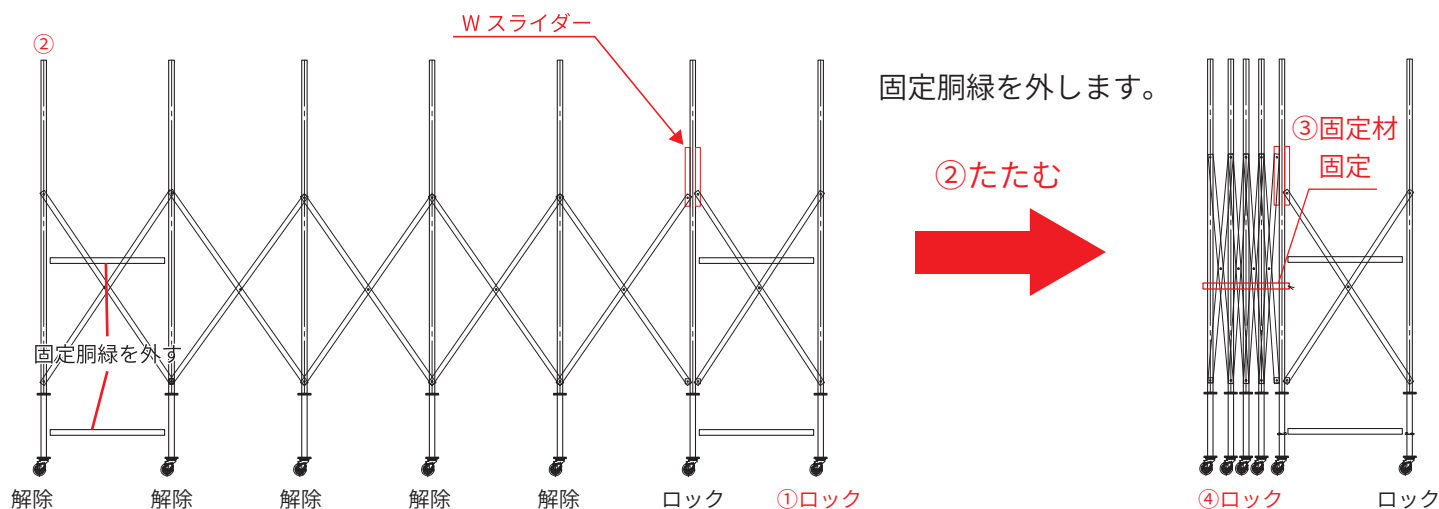
伸ばす

- ①伸縮の基点となるキャスターのストッパーをロックし、他のキャスターはストッパーを解除します。
- ②固定材（ロープと固定金具）を取り外します。
- ③伸縮させたい側の柱フレームを持ち、キャスターテントをゆっくりと伸ばします。
- ④キャスターテントの張り具合を確認し、固定胴縁をセットします。
- ⑤全てのキャスターのストッパーをロックします。



たたむ

- ①伸縮の基点となるキャスターのストッパーをロックを確認し、他のキャスターは固定胴縁を外します。
- ②伸縮させたい側の柱フレームを持ち、キャスターテントをゆっくりとたたみます。
- ③固定材（ロープと固定金具）で、固定して下さい。
- ④キャスターテントの異常がないかを確認し、全てのキャスターのストッパーをロックします。

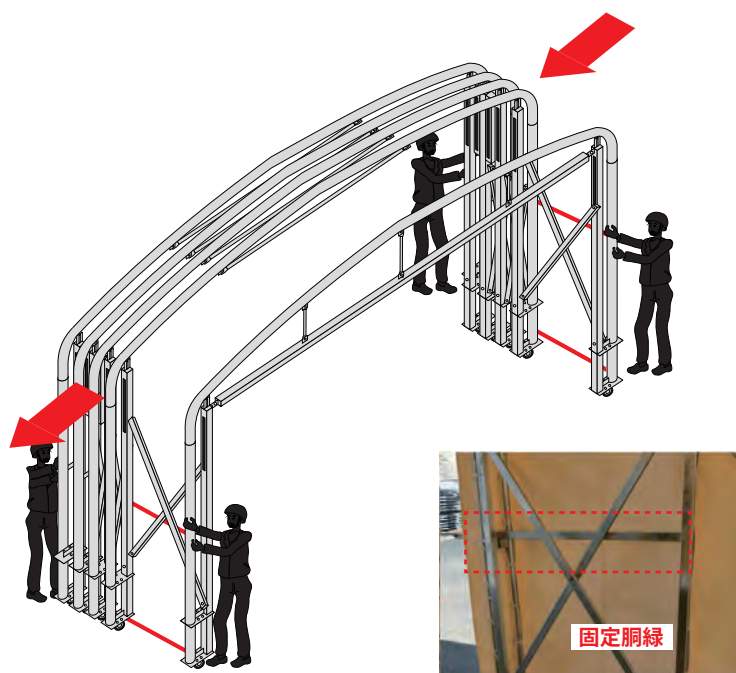


キャスターテント X-TENT の移動について

ご注意点

- ①製品足元キャスターの**すべてのロックが移動可能な状態に解除**されているかをご確認下さい。
- ②移動の際は進行方向だけでなく、**周囲にも障害物が無い**かよく確認し、移動時に危険になりうる障害物は事前に取り除いて下さい。
- ③水平レベルの取れた**平坦な場所での移動に限り**ます。段差や・勾配のある場所での移動は行わないで下さい。
- ④必ず4人以上で行い**最低限製品のカド位置に人員を配置し、移動時には声を掛け合いながら**慎重に進めて下さい。
- ⑤引手側の人員は後方移動にならない様、**正面には入らず不測の事態に備える位置取りを心掛け**、押手側もテント内部での作業は安全の為行わないで下さい。

※手を挟む可能性がありますので、タスキ材を絶対に持たないで下さい。



移動が途中で止まったり、動かなくなった場合は一度進行を止め、要因を解決し安全であることを確認したうえで再度作業を行って下さい。

移動中は作業員以外が作業スペースへ立ち入らない様に配慮して下さい。

※止まる原因（小石の挟まり、キャスター向きが変わる）

** ジャバラを 2m幅程にしての移動 **

転倒対策として、移動式テントを移動させる際には、ジャバラ部分を2m幅程にして移動することが推奨されます。これにより、テントの安定性が向上し、転倒のリスクを最小限に抑えることができます。ジャバラが部分的に閉じていると、重心が不安定になる可能性があり、移動中の転倒の原因となることがあります。従って、移動前にジャバラを2m幅程にし、安全な移動を確保してください。

2m幅程にして移動が出来ない場合にはイラストの様な対策にて安全に注意して移動させてください。

※固定胴緑を外すと転倒しやすくなり大変危険ですので、絶対に外さないで下さい。

万が一転倒した場合

使用状況・移動時により、万が一転倒してしまった場合は2次災害を想定し、速やかに転倒物から離れ、容易に近づかないように区画を区画するなどして下さい。特に転倒物が設置物との干渉等により安定していない場合は人力での対処は行わない様にして下さい。思わぬ事故を引き起こす可能性があります。

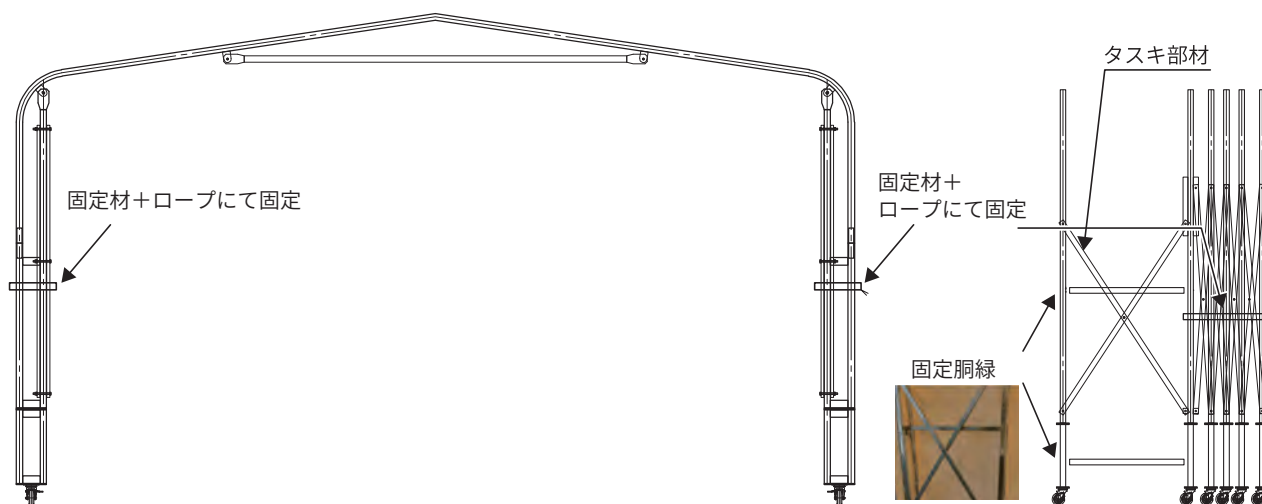
周囲の状況、転倒物の状態を確認し、人力での作業はなるべく避け、必要であればクレーンなどで安全確保をしつつ、完全に寝かすなど安全に作業・状況確認が出来る状態にして下さい。破損部分の確認を行わずに無理な起こし上げをしますと、更なる転倒・破損の危険性がある為、必ず状況の確認を行って下さい。破損部分などが無いか十分チェックを行い、破損部分があれば使用は避け部材の交換をお願い致します。

キャスターテント X-TENT の使用条件について

ご注意点

- ①必ず本製品を**理解した管理者**をご用意下さい。
- ②作業の際は必ず大人4人以上で行って下さい。
- ③強風時には広げた状態で使用せずに、イラスト①の状態 で建物などに横付けしロープにて固定をお願いします。
- ④台風の際は畳んだ状態で屋内へ収納をお願いします。
- ⑤大雨、雪、雷などの天候不順時、またはそれが予想される場合には危険ですので使用しないで下さい。
- ⑥固定胴縁のない状態で、完全にフレームをたたむのはおやめ下さい。フレームが転倒し大変危険です。

イラスト①



メモ